

第2回 建設産業担い手確保・育成産学官連携会議資料

| | |
|------------------------------|--------|
| 資料1：建設産業と担い手の現状 | p.1 |
| 資料2：第1回会議アンケート結果整理 | p.2～3 |
| 資料3：建設産業担い手確保・育成に係る施策（案） | p.4～5 |
| 資料4：担い手確保・育成に係る校種別対応施策（案）の整理 | p.6 |
| 資料5：施策（案）の内容等 | p.7～11 |

資料1 建設産業と担い手の現状

現状

若者の減少 (高齢化)

入職者の減少
(建設課程高校生、
建設系大学生、
専門学校生)

建設課程等、
進学者の減少
(小中学生、
普通科高校生)

課題

建設業に触れる
機会の少なさ、
理解不足の解消

目標

①建設産業の
魅力を伝える

建設産業担い手不足の解消

■高校(建設課程)(山梨県建設業協会)

建設課程1学年の生徒数が新規高卒建設業求人数を下回っているのに加え、卒業者の6~7割が就職する一方で約半分が建設業以外に入職している。

| | 卒業 者数 | 就職 者数① | 建設業就職者数② | | | 建設業 以外 | |
|-------|----------|-----------|----------|-------|-----|-----------|------|
| | | | ②/① | 県内 | 県外 | | |
| H27.3 | 226人 | 140人 | 61人 | 43.6% | 58人 | 13人 | 69人 |
| H28.3 | 261人 | 167人 | 93人 | 55.7% | 78人 | 15人 | 74人 |
| H29.3 | 302人 | 171人 | 97人 | 56.7% | 74人 | 25人 | 72人 |
| H30.3 | 274人 | 170人 | 94人 | 55.3% | 77人 | 17人 | 76人 |
| H31.3 | 270人 | 187人 | 86人 | 46.0% | 74人 | 12人 | 101人 |
| R2.3 | 249人 | 158人 | 86人 | 54.4% | 76人 | 10人 | 72人 |

◆国土交通分野の将来見通しと人材戦略に関する調査(国土交通政策研究所): H28.12~H29.1

調査背景: 工業高校に対する求人倍率は高く、建設業に就職する生徒数は増加傾向にあるが、生徒数が減少していることに加えて他業種に就職する生徒も多い(6割弱が他業種への就職、進学)
調査対象: 土木建築系学科の3年生(263校)及び進路指導担当教諭、建設業者

■建設業に触れる機会(複数回答)

| | |
|--------------|-------|
| 授業 | 76.3% |
| インターンシップ | 65.5% |
| 現場見学会 | 64.3% |
| 現場実習 | 26.2% |
| 建設会社社員等の出張授業 | 25.6% |
| 触れる機会はない | 3.4% |
| その他 | 2.6% |

■建設業に触れる機会の有無とイメージの関係(複数回答)

| 建設業にふれる機会のない生徒 | | 建設業にふれる機会のある生徒 | |
|----------------|-------|----------------|-------|
| ①物をつくる喜びがある | 31.5% | ①物をつくる喜びがある | 36.6% |
| ②肉体的・汚れた作業が多い | 26.0% | ②建設物が後世に残る | 35.6% |
| ③危険作業や事故が多い | 22.0% | ③地域社会や人の役に立つ | 27.0% |
| ④建設物が後世に残る | 20.0% | ④肉体的・汚れた作業が多い | 16.4% |
| ⑤地域社会や人の役に立つ | 15.0% | ⑤危険作業や事故が多い | 13.4% |

高い 離職率

賃金,労働時間,
休日など、労働
条件の問題

若者や女性から
のニーズ不一致

就労環境の改善

②建設産業の
魅力を高める

■年間実労働時間・年間実出勤日数 (毎月労働統計調査H29 山梨県)

他産業に比べて、労働時間が長く出勤日数も多い。

| | 年間実労働時間 | 年間実出勤日数 |
|-------|---------|---------|
| 建設業 | 2,083時間 | 254日 |
| 製造業 | 1,967時間 | 234日 |
| 全産業平均 | 1,742時間 | 227日 |

■建設業労働者の賃金(賃金構造基本統計調査 全国)

年間賃金総支給額は2012年から2017年にかけて改善傾向にあるが、建設業の生産労働者については、額としてはまだ少ない。

| | 2012年 | 2017年 | 上昇率 |
|----------|-------|-------|-------|
| 全産業男性労働者 | 530万円 | 552万円 | 4.2% |
| 製造業男性労働者 | 539万円 | 553万円 | 2.5% |
| うち生産労働者 | 448万円 | 470万円 | 5.0% |
| 建設業男性労働者 | 483万円 | 554万円 | 14.7% |
| うち生産労働者 | 392万円 | 445万円 | 13.6% |

◆若年者の能力開発と職場定着に関する調査 (労働政策研究・研修機構): H28.2~3

調査対象: 正社員として1回以上勤務したことがある人(21歳~33歳)

初めての正社員勤務先を離職した理由(全産業)

| | |
|-------------------------|-------|
| ①労働時間・休日・休暇の条件がよくなかったため | 31.8% |
| ②自分がやりたい仕事とは異なる内容だったため | 28.4% |
| ③キャリアアップするため | 28.1% |
| ④肉体的・精神的に健康を損ねたため | 26.9% |
| ⑤賃金の条件がよくなかったため | 26.9% |
| ⑥会社に将来性がないため | 25.1% |
| ⑦人間関係がよくなかったため | 24.3% |

◆建設業者アンケート結果(山梨県): H30.10

調査対象: 県工事の入札参加資格がある事業者1,053事業者
回収状況: 542事業者/1,053事業者(回収率51.5%)

- 入職・定着に向けて県に望む支援策
(多い順に) 建設業の役割の重要性やその魅力について社会にPRすること、建設労働者の技術・資格取得などスキルアップを支援すること、快適トイレ設置や週休2日制導入など労働環境改善を推進すること、児童・生徒が建設現場見学や職業体験できる機会を増やすことなど
- その他意見
- ・台風・降雪等の自然災害発生時において、地元建設会社が二次災害等の危険がある中においても逸早く対応してインフラ整備・維持管理を行政と一体となり取り組んでいる姿勢をPRしてほしい
 - ・若手入職者不足については、週休2日制の導入と適正な賃金確保が必要不可欠(多数)
 - ・若者は休日が多くなければ就職しない、休みが少ない、不定期、残業が冬場に多いといった状況では、建設業への定着は難しい
 - ・面接会や説明会、インターンシップに応募がない
 - ・若手を募集しても新卒中途に関らず応募が乏しい

資料2 第1回会議アンケート結果整理

① 建設産業の魅力伝える

課題・現状など

- 建設系の職業に進む学生の割合があまり多くない。
- 建設系学科の入学者をどれだけ建設業に進めさせることができるか。(学校側)
- 高校選択時に建設系学科に進みたくなるような子どもを増やすことができるか。(業界・県側)
- 学校の多様化により生徒本人や保護者も自分の適性に気づかずに就職し結果的に離職することがあるため、丁寧な進路アドバイスが必要
- 3K(キツイ・汚い・危険)の払拭

提案など

- 建設業対策室が県内各小中学校へ募集をかけ、各協会が出前講座等の授業を行う。
- 建設業青年部のプレゼンを生徒に見せられれば、建設業への関心を高まるのではないか。
- 地域の建設業協会などが学校関係の美化活動(愛校作業)等に協力し建設業をアピールする。
- 学校の設立記念の航空写真等をドローンで撮影し建設業をアピールする。
- 職種のイメージが伝わる建設の仕事(役割や仕事の領域、専門性の紹介等)のパンフレットを作り、今後様々な機会においてアプローチに活用する。
- 県外進学卒業生が就職相談に来ることが多々あるため、企業パンフレットがあれば活用できる。

課題・現状など

- 生徒をやる気にさせて建設業入職へ繋がるような工夫が必要である。
- 建設関係のイメージを変えるためにも「やりがい」や「将来的イメージがしやすい」アピール方法を見つけ、早期に生徒に動機づける必要がある。
- これまでも建設業協会を中心に様々な取り組みを行っており、新たな取り組みでは如何に生徒に興味を持ってもらうかが重要
- 工業高校生と業界が接する機会が増えればよい。
- 定期的に生徒と直接接する機会が増えるとよい。

提案など

- 高校・大学生に、現場をピックアップして「測量⇒設計⇒施工⇒完成」までの一連の変遷を見学してもらい、現場で講義を行えば現役生にとってより有意義な内容となる。
- 私の学校はここにあるプロジェクト(測量設計業協会)は高校生にも魅力的。土木系学科では生徒とタイアップ(技術指導)で参加できると面白い。
- 月1程度の頻度で業者が総合学習として現場で授業を行えるとよい。
- 技術者(監督業)をクローズアップした動画や、講習会の実施など
- 1年次の説明会・意見交換会や女性技術者と女子生徒の意見交換会など

建設産業のイメージアップ

主なターゲット
小中学生、
普通科高校生、
保護者

若手技術者の確保

主なターゲット
建設課程高校生、
建設系大学生、
専門学校生

資料2 第1回会議アンケート結果整理

② 建設産業の魅力を高める

- 建設業界の若手技術者が集まって業界全体をフォローできる建設業全体の学習プログラムの内容を考えることができればいいのではないか。

- 週休2日制や年残業360時間以内厳守など業界全体が変わらなければならないと思うが、現在は期日までの工事完了に合わせる為に土日現場が動いている状態である。産業団体に所属している会社は肅々とこの業務実態を変えていかなくてはと思う。

若手技術者の定着

- 機械化IT化の推進による男女差の減少についても興味を持てたが、あくまで技能職の話で、技術職としての男女差についてももう少し話をしたい。

- 建設女子を増やすことがイメージを変えることにもつながる。

- 女性技術者（けんせつ小町甲斐のメンバー）が企業説明や建設関係へのイメージ改革など広く活動することが大切である。

- 1年次の説明会・意見交換会や女性技術者と女子生徒の意見交換会などはよいアイデアである。

女性技術者活躍の推進

- 雇用者側も充実したホームページを備え、企業理念、雇用条件、待遇等を公表して、安心して就職できる会社である説明責任を果たすべき

- 製造業の給与体系は「月給制」であるのに対し、建設業の労働者では「日給月給」が多く、こうした給与体系の格差が製造業の人気につながっていると思われる。建設業の雇用者側も「月給制」への移行等、労働者の待遇改善の努力が必要

- 各団体のパンフレットや動画を県HPにアップしていただきたい。

- 現状年1回の就職ガイダンス以外に現場の人間が現役生徒に関われる機会が乏しく、定期的に直接接する機会が増えることが望ましい。

- 生徒にとって有意義な内容とするために、現場の最新機器にふれる機会を設けたり、CADの実習に実際現場で使われたデータを扱うなどを実習授業に盛り込むとよい。

- 普通高校の生徒は、将来の職業がそれなりに見えてこないと大学・専門学校の学科も上手く選べないと思われる。普通高校でも年1回程度の職業別説明会などがあってもよいのではないか。普通高校で説明するのに建設業のみでは難しいため、他の業種との連携し現役生徒に接する機会があればよい。

- 見学の際には、技能者の方を含め現場で働く皆様のお話が直接うかがえるよう配慮いただければと思う。

建設産業担い手確保・育成
産学官連携会議
の継続開催

その他

目 標

施 策（案）

① 建設産業の魅力伝える

建設産業の
イメージアップ

主なターゲット
小中学生、
普通科高校生、
保護者

【キャリア教育への参加】

- 小中学校の環境美化活動を通じた建設産業の啓発
- 小中学生・普通科高校生に対する出前講座、現場見学会の実施
- 職場体験等受入企業と学校のマッチング
- 現場見学等受け入れのマニュアル化による参加拡大
- 新たな学習プログラムの作成

【建設産業の情報発信】

- 中学生や普通科高校生向けパンフレットの作成・配布

若手技術者
の確保

主なターゲット
建設課程高校生、
建設系大学生、
専門学校生

【建設課程学生の入職促進】

- インターンシップ、ICT施工等体験学習の実施
- 若手技術者と学生との意見交換会の開催
- 学科・系列選択前の生徒に対する建設産業説明会の開催

【建設産業の情報発信】

- 県外大学等進学者へのアプローチ
（やまなし就職ナビ、ユースバンクやまなし等の活用）

目 標

施 策（案）

② 建設産業の魅力を高める

若手技術者の定着

【就労環境の改善】

- 若手技術者の離職防止に向けた会議の開催
- 新規入職者向けのフォローアップ意見交換会の開催
- 社内制度の拡充（表彰制度等の創設など）
- 休暇日数の確保（週休二日制の促進など）

女性技術者活躍の推進

【建設産業の女性活躍推進】

- 働きやすい環境整備に向けた会議の開催
- 女性技術者と女子学生との意見交換会の開催

その他

建設産業担い手確保・育成産学官連携会議の継続開催

- 施策の検証
- より効果的な施策及び課題解決策の更なる検討
- 部門会議の開催 → 若手技術者の離職防止に向けた会議（再掲）
働きやすい環境整備に向けた会議（再掲）

資料4 担い手確保・育成に係る校種別対応施策（案）の整理

施策凡例：○新規施策
●既存施策

| 校種名等 | | 各機関の取り組み | | 施策(案) | | | |
|-------|-------------|--|---|--|---|---|---|
| 小学校 | | 総合学習 | <ul style="list-style-type: none"> ▼測量設計業協会 「私の学校はここにある」プロジェクト ▼県：景観づくり推進室 やまなしインフラ親子現場見学会 ▼県：産業人材育成課 ものづくり魅力発見事業 ※全産業対象 | <p>【キャリア教育への参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職場体験・親子現場見学会受け入れ先、出前講座講師のリストアップ → 教育現場とのマッチング ○総合学習に適した新たな学習プログラムの提供 (例：地域の自然災害と建設業の役割など) ○現場見学会等のマニュアル化による参加企業の拡大 ○小中学校に対する啓発活動を行う団体等への支援 <p>【建設産業の情報発信】 (中学生・保護者・進路指教員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材となる建設業就職パンフ (建設業の役割・仕事の紹介を含む) 等の作成・配付 | | | |
| 中学校 | | | 2学年 夏休み職場体験 | | 職業講話 (労働局) 6校程度/年 | | |
| 高校 | 専門学科 | 甲府工業 (土木・建築) 農林 (環境土木) (造園緑地) | キャリアパスポート | <ul style="list-style-type: none"> ▼建設業協会・学校独自など インターンシップ ▼建設業協会 ・2級施工管理技術検定試験準備講座 ・建設現場見学会 ・若手技術者等との意見交換会 ・富士教育訓練センター職業体験学習 ・技術系教員を対象とした現場実務施工体験研修 ▼測量設計業協会 ・高校生ものづくりコンテスト ・測量機材の寄付 ▼学校独自など ・OBや地元企業による講演会 | <ul style="list-style-type: none"> ▼労働局・建設業協会 ・建設業合同企業説明会 ▼県：労政雇用課 ・合同就職フェア ・ユースバンクやまなし ・やまなし就職応援ナビ | 建設業協会PR動画のDVD配付 | <p>【建設産業の女性活躍推進】 (女子学生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○女性技術者と女子学生との意見交換会 <p>【キャリア教育への参加】 (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現場見学会受け入れ先、出前講座講師のリストアップ → 教育現場とマッチング <p>(普通科高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●出前講座、現場見学会 <p>【建設課程学生の入職促進】 (建設系学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT施工等体験学習会 ●若手技術者と高校生との意見交換会 <p>(工業科・総合学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年生への建設産業説明会 <p>【建設産業の情報発信】 (普通科高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○普通科高校生向けパンフレットの作成・配布 |
| | 工業科 (建設系学科) | 峡南・青洲 (土木) 都留興譲館 (環境) | | | | | |
| | 総合学科 (建設系列) | 北杜 (環境) 笛吹 (環境緑地) 富士北稜 (建築デザイン) | | | | | |
| | (他の系列) | 甲府城西(カトリック) | | | | | |
| | 上記以外 | 韮崎工業、 塩山 (商業科)、 県立高校普通科、 《甲府商業》 | | | | | |
| 大学・専門 | 県内 | 山梨大 県立大、都留文大、 山梨学院等 | ハローワーク産業事情説明会 | <ul style="list-style-type: none"> ▼労働局 ・やまなし就職フェア ▼県：労政雇用課 ・提携大学への情報提供 ・職員による学校訪問 ・大学父母会への情報提供 | (合同就職フェア・東京) | <p>【建設産業の情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県外大学等進学者へのアプローチ (やまなし就職応援ナビ、ユースバンクやまなし等の活用) | |
| | 県外 | | | | | | |

| | | | |
|-----------|---|--|--|
| 山梨県内の建設産業 | <p>《育成・定着施策案》</p> <ul style="list-style-type: none"> 【若手技術者の離職防止】 ○若手技術者の離職防止に向けた会議の開催 ●新規入職者向けのフォローアップ意見交換会 ○若手技術者の定着 (表彰制度等の創設など) | <p>【建設産業の女性活躍推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○働きやすい環境整備に向けた会議の開催 | <p>【週休二日制の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○週休二日制モデル工場の拡大 |
|-----------|---|--|--|

資料5 施策（案）の内容等

1.建設産業のイメージアップ

①キャリア教育への参加

| | |
|------|---|
| 施策項目 | (1) 職場体験等受入企業と学校のマッチング |
| 施策内容 | 児童・生徒が建設産業を知る機会を増やすとともに、建設産業のイメージアップを図るため、県が主体となって職場体験や工事現場見学会等における各団体と教育現場とのマッチング・連絡調整 |
| 産 | 職場体験等受入企業の把握及び参加促進 |
| 学 | 職場体験等募集への助言 |
| 官 | 教育現場等への通知や各団体と教育現場とのマッチング・連絡調整 職場体験参加企業の入札参加資格審査に係る加点の検討 |

| | |
|------|----------------------------------|
| 施策項目 | (2) 現場見学等の受け入れマニュアルの作成 |
| 施策内容 | 現場見学や職場体験の受け入れマニュアルの作成による参加企業の拡大 |
| 産 | マニュアルの作成等、企業の参加促進 |
| 学 | |
| 官 | マニュアルの作成等 |

| | |
|------|--|
| 施策項目 | (3) 小中学校の環境整備活動を通じた建設産業の啓発 |
| 施策内容 | 建設産業の啓発を目的とした小中学校環境美化の支援（校庭の樹木の伐採、花壇・グラウンド等整備） |
| 産 | 制度設計、企業への依頼 |
| 学 | 制度設計への助言、依頼校の調整 |
| 官 | 制度設計 |

| | |
|------|---|
| 施策項目 | (4) 小中学生・普通科高校生に対する出前講座、現場見学会の実施 |
| 施策内容 | 児童・生徒が建設産業を知る機会を増やすとともに、建設産業のイメージアップを図るため、地域の防災教育等に関連した建設産業の出前講座を検討、災害復旧工事現場等の工事見学会の開催 「私の学校はここにある」プロジェクト（測量協会）の活用促進 |
| 産 | 出前講座の内容検討、見学工事現場の選定 |
| 学 | 機会の確保、運営方法への助言 |
| 官 | 出前講座の内容検討、県教委・地教委への働き掛け |

| | |
|------|--|
| 施策項目 | (5) 総合学習・総合探求に適した新たな学習プログラムの作成 |
| 施策内容 | 出前講座の内容を検討：特に高校に対しては地域防災の観点からアプローチ (例：自然災害と建設産業の役割、県内インフラ施設の役割・建設時の話、校舎や木等の高さの計測など) |
| 産 | 項目の選出、主に減災、復旧工事等建設産業に係る講座内容の検討 |
| 学 | 項目・講座内容について助言 |
| 官 | 項目の選出、主に自然災害・国土強靱化等に係る講座内容の検討 |

資料5 施策（案）の内容等

1.建設産業のイメージアップ

②建設産業の情報発信

| | |
|------|---|
| 施策項目 | (1) 中学生向けパンフレットの作成・配布 |
| 施策内容 | 生徒が建設産業を知る機会を増やすとともに、建設産業のイメージアップを図るため、中学生・保護者・進路指教員に対する建設業就職・進学パンフ（建設産業の役割・仕事内容の紹介を含む）の作成・配布 |
| 産 | パンフレット内容検討（建設産業の役割・仕事内容の紹介等） |
| 学 | パンフレット内容検討（専門学科・系列の内容や就職先・進学先等）や配布方法への助言 |
| 官 | パンフレット内容まとめ、配布方法の検討等、県HPアップ、県教委HPのリンク等 |

| | |
|------|---|
| 施策項目 | (2) 普通科高校生向けパンフレットの作成・配布 |
| 施策内容 | 普通科高校生が建設産業を知る機会を増やすため、建設系学部・学校進学に係る建設産業の現状・魅力を記載したパンフレットの作成・配布 |
| 産 | パンフレット内容検討（建設産業の役割・仕事内容の紹介等） |
| 学 | パンフレット内容・配布方法への助言 |
| 官 | パンフレット内容のまとめ、配布方法の検討等、県HPアップ |

資料5 施策（案）の内容等

2.若手技術者の確保

①建設課程学生の入職促進

| | |
|------|---|
| 施策項目 | (1) インターンシップ、ICT施工等体験学習会の実施 |
| 施策内容 | 建設産業が担う役割の重要性ややりがいを知ってもらうため、ICTを活用した施工技術など、座学や実習では目にすることのないできないダイナミックなものづくりを見学・体験 ICT現場に限定しない学校近郊での機動的な工事現場見学の実現 |
| 産 | 見学工事現場の確保、学校近郊工事見学会の制度設計 |
| 学 | 機会の確保、学校近郊工事見学会の制度設計 |
| 官 | 学校近郊工事見学会の制度設計 |

| | |
|------|--|
| 施策項目 | (2) 若手技術者と高校生との意見交換会の開催 |
| 施策内容 | 自分が働く姿を具体的にイメージしてもらうとともに、仕事に対する不安や疑問点などの解消を図るため、若手技術者から直接仕事の内容や経験談等を聞く意見交換会を実施 |
| 産 | 参加若手技術者の人選 |
| 学 | 機会の確保 |
| 官 | |

| | |
|------|---|
| 施策項目 | (3) 学科・系列選択前の生徒に対する建設産業説明会 |
| 施策内容 | 建設系学科・系列選択前の高校1年生に対する建設産業説明会を開催し、建設産業が担う役割の重要性ややりがい、ICT等を活用した現場の生産性・安全性の向上などの現在の姿を伝え、建設産業で働く魅力を発信 |
| 産 | 開催時期等の検討、説明会参加者の人選 |
| 学 | 機会の確保、開催時期等の検討 |
| 官 | 開催時期等の検討 |

②建設産業の情報発信

| | |
|------|--|
| 施策項目 | (1) 県外大学等進学者へのアプローチ (やまなし就職ナビ、ユースバンクやまなし等の活用) |
| 施策内容 | インターンシップや就職説明会等の情報を県外大学等進学者に発信し、建設産業へ就業する機会を提供 |
| 産 | 就職説明会やインターンシップ等の情報を整理して、建設業対策室に報告、有効な情報発信内容の検討 |
| 学 | ユースバンクやまなしへの登録促進 |
| 官 | 就職説明会やインターンシップ等の情報を県外進学者等に情報発信、有効な情報発信内容・方法の検討 |

資料5 施策（案）の内容等

3.就労環境の改善等による離職防止【若手技術者の離職防止】

| | |
|------|--|
| 施策項目 | (1) 若手技術者の離職防止に向けた会議の開催 |
| 施策内容 | 若手技術者を中心とする産学官連携会議の部門会議を設置 就労者の待遇・現場環境に係る課題抽出・改善の方向性検討、普通科高校生向けパンフレットへの助言 |
| 産 | 参加若手技術者の選定、検討内容等を協会内企業で共有 |
| 学 | 教員の参加 |
| 官 | 建設業対策室事務局 |

| | |
|------|-----------------------------|
| 施策項目 | (2) 新規入職者向けのフォローアップ意見交換会の開催 |
| 施策内容 | 入職2～3年目の若手技術者同士による意見交換会 |
| 産 | 参加若手技術者の人選、意見を協会内企業で共有 |
| 学 | |
| 官 | |

| | |
|------|-------------------------------------|
| 施策項目 | (3) 若手技術者の定着 |
| 施策内容 | 若手技術者のモチベーションの維持・向上を目的とした表彰制度等の創設など |
| 産 | 制度設計への助言、運営補助 |
| 学 | |
| 官 | 制度設計、運営 |

| | |
|------|----------------|
| 施策項目 | (4) 週休二日制の促進 |
| 施策内容 | 週休二日制モデル工事の拡大 |
| 産 | 働き方改革の推進 |
| 学 | |
| 官 | 受注者希望型工事の対象を拡大 |

資料5 施策（案）の内容等

4.女性活躍の推進【建設産業の女性活躍推進】

| | |
|------|---|
| 施策項目 | (1) 働きやすい環境整備に向けた会議の開催 |
| 施策内容 | 現役女性技術者を中心とする産学官連携会議の部門会議を設置 女性技術者の働きやすい環境整備に係る課題の抽出、改善の方向性検討、中学生・普通科高校生向けパンフレットへの助言 |
| 産 | けんせつ小町甲斐のメンバー参加、検討内容等を協会内企業で共有 |
| 学 | 女性教員の参加 |
| 官 | けんせつ小町甲斐のメンバー参加、建設業対策室事務局 |

| | |
|------|----------------------------------|
| 施策項目 | (2) 女性技術者と女子学生との意見交換会の開催 |
| 施策内容 | 現役女性技術者と建設系学科・系列の女子学生との意見交換会の開催 |
| 産 | けんせつ小町甲斐メンバーの参加、交換会での意見を協会内企業で共有 |
| 学 | 女性教員の参加、建設系学科・系列生徒の参加者の募集 |
| 官 | けんせつ小町甲斐メンバーの参加 |

5.産学官の連携強化【建設産業担い手確保・育成産学官連携会議】

| | |
|------|-----------------------------|
| 施策項目 | (1) 建設産業担い手確保・育成産学官連携会議の開催 |
| 施策内容 | 施策の検証、より効果的な施策及び課題解決策の更なる検討 |
| 産 | 内外との連携強化 |
| 学 | 内外との連携強化 |
| 官 | 内外との連携強化 |